


小6算数②

氏名

/ 3問

- ゆいさんは、お母さんといっしょに、夕食の買い物のため、スーパーへ来ています。今日のメニューは、ハンバーグなので、ひき肉を買おうと思います。ゆいさんは、ひき肉のコーナーで次のような表示のひき肉を見つけました。次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

豚^{ぶた}ひき肉 (国産)
内容量 175g 価格 210 円



1 1 1 0 3 0 0 5 9 4

牛ひき肉 (アメリカ産)
内容量 240g 価格 264 円



1 2 1 0 2 5 0 2 7 0

牛・豚ひき肉 (6:4)
内容量 400g 価格 512 円



1 3 5 2 0 1 6 5 8 7



ハンバーグは、牛ひき肉でも、豚ひき肉でも、それらをまぜあわせたひき肉でも作れるよ。どのひき肉にしようか。

- (1) ゆいさんとお母さんは、アメリカ産牛ひき肉と国産豚ひき肉のどちらのほうが安いのかを考えています。



1円あたりのひき肉の量は何gになるかな。

お母さんは、「1円あたりのひき肉の量」を考えることによって、どちらのひき肉が安いかを次のように説明しました。

お母さんの説明

1円あたりのひき肉の量は、
(ひき肉の量) ÷ (値段) で求められるから、
アメリカ産牛ひき肉の1円あたりの量は、 $240 \div 264 = 0.9090\dots$ で約 0.91g
国産豚ひき肉の1円あたりの量は、 $175 \div 210 = 0.8333\dots$ で約 0.83g
このことから、1円あたりの量はアメリカ産牛ひき肉のほうが多いので、アメリカ産牛ひき肉のほうが安いといえます。



わたしは、1gあたりのひき肉の値段を考えました。

お母さんの説明をもとにして、ゆいさんの考えを言葉と式を使って書きましょう。

1gあたりのひき肉の値段は、(値段) ÷ (ひき肉の量) で求められるから、アメリカ産牛ひき肉の1gあたりの値段は、 $264 \div 240 = 1.1$
国産豚ひき肉の1gあたりの値段は、 $210 \div 175 = 1.2$
このことから、1gあたりの値段は、アメリカ産牛ひき肉のほうが安いです。

- (2) ゆいさんとお母さんは、けっきょく牛・豚を合わせたひき肉を400g買うことにしました。ところが、ゆいさんは、次のように考えて、お母さんに提案してみました。



ゆい

はじめから牛・豚を6:4で合わせたひき肉を買うより、アメリカ産牛ひき肉と国産豚ひき肉を6:4の割合で合計400g買って合わせたほうが安くないかしら。

ゆいさんは、アメリカ産牛ひき肉と国産豚ひき肉を6:4の割合で合計400g買うと、それぞれ何g買えばよいかを次のように求めました。

牛ひき肉の割合は、全体の 倍です。
だから、牛ひき肉の量は、 = 240 (g)
豚ひき肉の量は、 $400 - 240 = 160$ (g) になります。

- ① にはあてはまる数を、 にはあてはまる式を、それぞれ書きましょう。

$0.6 \left(\frac{3}{5} \right)$

400×0.6

- ② はじめから牛・豚を6:4で合わせたひき肉を買うのと、アメリカ産牛ひき肉と国産豚ひき肉を別々に買うのとでは、どちらが安いですか。言葉や式と答えを書きましょう。

はじめから牛・豚を合わせたひき肉は、400gで512円、
別々に買うと、400gで、 $240 \times 1.1 + 160 \times 1.2 = 456$
だから、別々に買ったほうが安いです。

答え

別々に買ったほうが安い